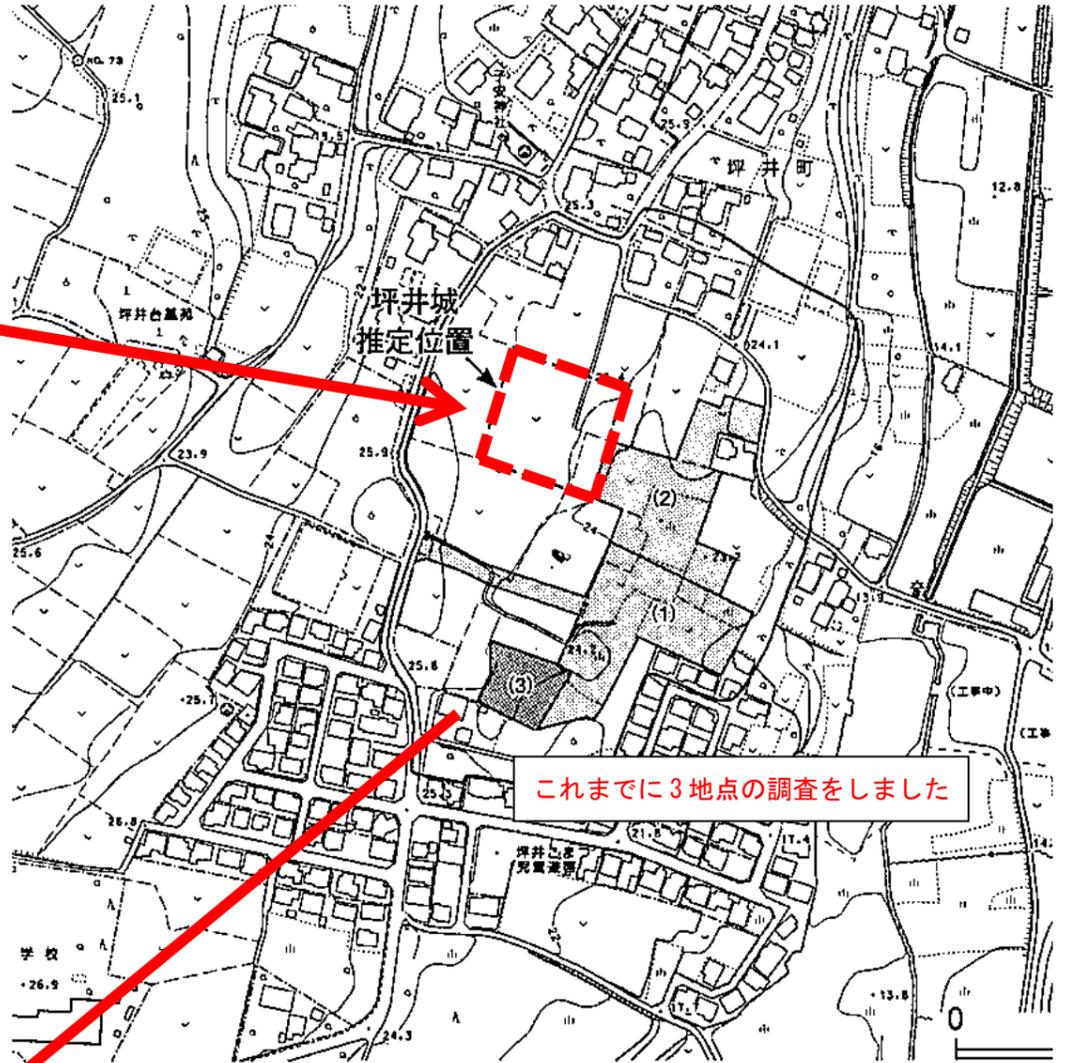




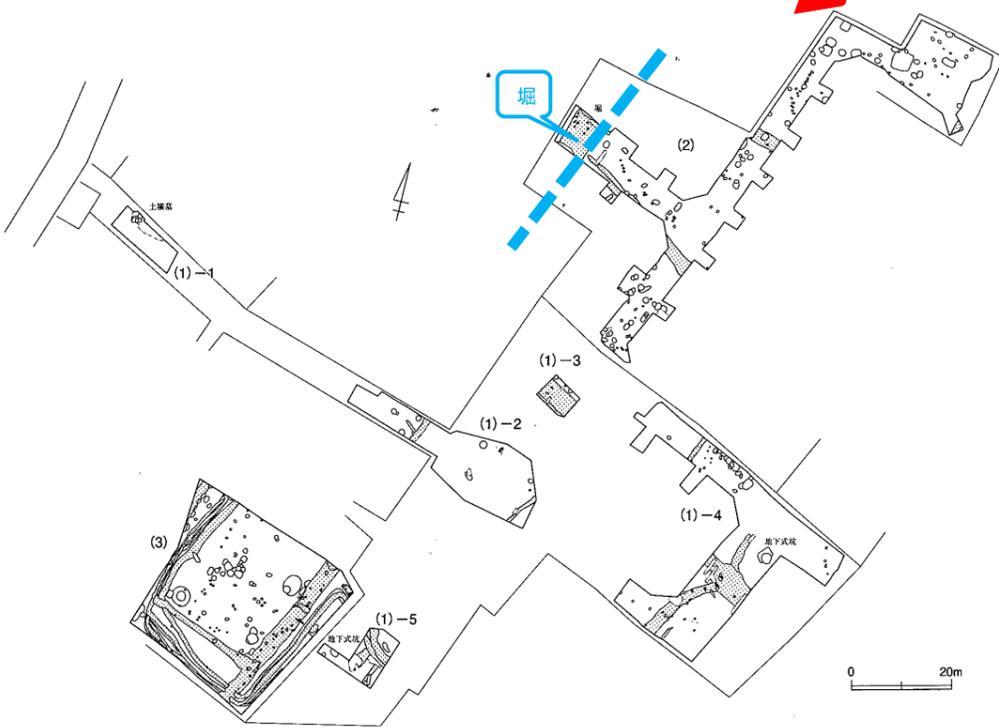
地籍図に見える城の痕跡



中井台遺跡 (3) 出土陶器・土器類



第4図 中井台遺跡調査地点図 (1/5,000)



第41図 中井台遺跡全体図 (1/800)



この坪井町5号公園の西側の畑に、坪井城跡(中世)があります。現在は、  
 長年の耕作でわからなくなっていますが、かつては土塁や堀が見えていたと  
 伝えられています(昭和34年発行『船橋市史前篇』)。  
 この城跡周辺に広がる中井台遺跡では、宅地造成に先立って平成20年から  
 現在まで、3地点の発掘調査が行われています。平成21年に行われた(2)調査  
 地点では、坪井城跡の一部と思われる幅約6mの堀跡が発見されました。  
 地籍図なども参考にすると、坪井城はおよそ60m四方の大きさであったと  
 推定できます。また、中井台遺跡(1)～(3)調査地点からは溝や道路で区画  
 した中に、井戸状遺構や地下式坑(倉庫)、方形土坑(小型の貯蔵施設)などが  
 配置されており、これらは城周辺に広がる屋敷の一部であると考えられます。  
 このように、現在の坪井町の原型となる中世の村の姿が、近年の発掘調査  
 により、次第に明らかになってきています。なお、この公園の地下には遺跡  
 の一部が保存されています。

